

いつまでも 「那高」らしく、 輝かしい未来へ

地域の進学校として名高い、和歌山県立那賀高等学校。今年、創立100周年を迎えます。

先輩や教職員など、学校関係者が積み上げてきた「那高」の歴史と伝統を紐解いていきましょう。

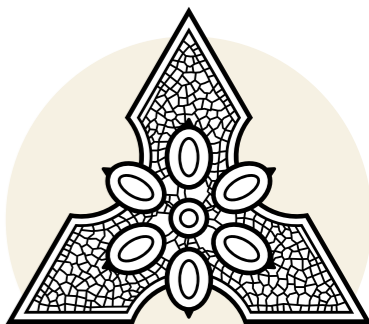
大正11年に創立した 地域を代表する進学校

和歌山県立那賀高等学校の前身は、1922（大正11）年に創立された和歌山県立那賀農業学校です。1948（昭和23）年4月の学制改革により、校名を和歌山県立那賀高等学校に変更し、全日制の普通科と農業科を有する総合高等学校として開校しました。

1989（平成元）年3月には、農業科を閉科するという大転換期を迎えます。1991（平成3）年より、国際科を新設。その翌年には、オーストラリアのクリスチ

ヤンカレッジと、1998（平成10）年には中華人民共和国の山東省実験中学と姉妹校提携を結びました。留学生の派遣や受け入れなどの交流を盛んに行い（現在は、コロナ禍のため中止）、地域と世界をつなぐ国際人の育成を推進しています。

現在の生徒数は、普通科と国際科を合わせて827人。生徒たちは、恵まれた教育環境のもとで勉強に励んでいます。クラブ活動は、体育クラブ、文化クラブとも活発で、毎年多くのクラブが全国大会や近畿大会へ



の出場を果たしています。「授業やクラブ活動、地域貢献、それぞれの学びにより、自らを鍛え、地元を誇りを持ち、地域社会のリーダーとして貢献できる生徒の育成に努めています」と、第22代校長の森勝博さんは話します。

学内外での活動で心を磨き 地域に貢献する人材を育成

那賀高校では、地域活動やボランティア活動も積極的に取り組んでいます。「小学校ボランティア」は、岩出市内の6校の小学校を対象に、夏休み期間中の補習を担当する教員のサポートや、クラブ活動を通して児童たちと交流。放送部員は、岩出警察署から委嘱を受けた高校生広報員（愛称「フローリアサポーター」）として、交通安全ポスタ



和歌山県立那賀高等学校
校長 森勝博さん(右)
教諭 福井美紀さん(左)

1の作成や、小学校の校内放送で交通安全教室を実施しました。母校で英語教師を務める福井美紀さんは、「バランス感覚に優れ、素直で心の元気な生徒が多いと感じます。みんな、青春を楽しんでいますよ」と生徒の印象を話します。

「個人的にうれしかったのは、体育祭終了時、今年度で退職する私を生徒たちが胸上げてくれたこと。思いやりのあるサブライズに感動しました」と森校長はほほ笑みます。

生徒の卒業後の進路は、多くが大学進学を経て一般企業や官公庁へ就職していきます。大手企業で活躍する卒業生もいるなかで、Uターン就職する人も多く、卒業後も地域を支えています。「これからも、地域の皆さまから愛される『那高』であるよう、教職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお申し込み申し上げます」と、森校長は創立100周年への感謝を口にしました。

母校の大切な節目を祝う 創立100周年記念事業

「那高」創立100周年を祝う記念事業が、今年度より展開されています。貴重な資料を元に編纂される100周年記念誌の制作、部室棟の改築、幅広い年齢層へのアプローチを目的とした100周年記念ウェブサイトや100周年公式Facebookの立ち上げ、記念式典の開催などです。

記念式典は、10月23日に同校体育館にて執り行われる予定です。歴代校長をはじめ、同校に縁のある招待者を迎え、「那高」の歴史と伝統に思いを馳せます。式典閉式後には、岩出市出身の元体操選手・田中理恵さんによる講演も開催。当日の様子は、同校視聴覚室にてライブ配信します（卒業生に限り定員50人・事前申し込み不要）。

記念事業の企画・運営に尽力しているのが、卒業生を中心に組織された和歌山県立那賀高等学校創立100周年記念事業実行委員会（以下、実行委員会）です。仕事の合間にメンバー同士で何度も会議を重ね、準備を進めてきました。「実行委員会の若い皆さんが汗をかいて頑張ってくれています。記念式典は、那賀高校に関わった全ての方々にとって思い出がよみがえる大切な時間になるはずですよ」と話すのは、西岡内科胃腸科（紀の川市）の西岡正好院長です。西岡さんは1970（昭和45）年に同校普通科を卒業。実行委員会副委員長という大役を担っています。

「歴史ある那賀高校へ入学するのは、当時のステータスでした。『那高』は、私にとって誇りです。多くの友人に恵まれ、青春を捧げた3年間でした」と懐かしみます。現在、西岡さんは同校

100周年という節目の年に、那賀高校の生徒であることはとても誇らしい気持ちです。たくさんの方の手によって、「那高」の伝統が繋がってきました。私たちも、次世代の後輩たちに大切につないでいきたいです。



2022年度 和歌山県立那賀高等学校生徒会

同窓会長も務めていて毎年、海の日（7月）の前日に同窓会総会を実施しています。総会には卒業生のみならず当時の教職員も参加し、旧交を温めています。

「私は、同窓会総会を『年代を問わず集まれる会』と名付けています。若い卒業生の方々にも、もつと集まっていたらいいですね」と幅広い世代の参加を呼びかけます。

長年、同校に関わり続け、卒業生同士のつながりに重きを置く西岡さんだからこそ、100年という節目に、卒業生としての誇りを再認識してほしい、と訴えます。「教職員の方々の精力的な取り組みにより、学力だけでなく、部活動でも優秀な成績をおさめています。ますます優れた学校



和歌山県立那賀高等学校創立100周年記念事業実行委員会のメンバー（2022年9月8日撮影）



西岡内科胃腸科 院長
和歌山県立
那賀高等学校同窓会 会長
西岡正好さん

information
和歌山県立
那賀高等学校
岩出市高塚115
☎0736-62-2117
<https://www.naga-h.wakayama-c.ed.jp/>

和歌山県立那賀高等学校
創立100周年記念事業実行委員会ウェブサイト
<https://naga100.com/>